

# 五十年間一日も欠かさず

今年も高下田さんは、お取り越し  
 報恩講前約一ヶ月間、ほぼ毎日蔵本  
 通支坊に通われて、境内の庭木の剪  
 定にご報酬下さいました。さて、今年  
 の「通り報恩講」に高下田さん宅にお  
 参りした時の事です。普段は寡黙な  
 高下田さんですが、次のようなことを  
 お話下さいました。「家族がの  
 仏壇は、もう古くなってしまったので  
 新しくしてほしいと言うので考えて  
 います。でも、苦業をともにしてくださ  
 った阿弥陀さまだけはこのままにしてお  
 きたいと思っています。実は、五十年



高下田武夫さん

前、母の通夜があつた晩、仏さまの前で  
 一人でお正信偈を上げていたら、阿弥  
 陀さまが現れくださったのです。そして  
 「後のことはワシに任せよ、安心せよ。」  
 とおっしゃったのです。ワシはこの言葉を  
 聞いて、心が本当に軽くなったんです。  
 それから、一日たりともお仏壇にお  
 参りするのを欠かしたことは  
 ないんですよ。うっかり寝てい  
 ても、ちゃんとお参りしたか  
 どうか気になって目がさめる  
 ことがあるんです。そんな時  
 は、仏さん(仏壇)の方を見  
 て、お仏飯が下がっていたら  
 (おつとめしたということな  
 ら)安心してまた寝るん  
 ですよ。」とお話下さいました。

## 門徒・僧侶の力を結集

# おとりこし・ご正当報恩講つとまる



蔵本通支坊は、今年も小田原  
 一さんが、溝掃除のご報酬をさ  
 れました。また、「みんなでお  
 掃除しよう」とよびかけた  
 ところ、脇スミエさん、佐々木  
 信子さん、浦島千登世さん、  
 佐々木健吉さんが参加して下  
 さいました。初参加の佐々木健  
 吉さんは、脚立に乗って、高い  
 ところを拭き掃除して下さい  
 ました。

三津田支坊のおときは、最終日  
 の朝席参詣者にお接待がありま  
 す(無料)。材料は(佐々木伝  
 門徒)さんのご報酬。



蔵本通支坊のお斎は千人分。しかし、準  
 備の皆さんには余裕の表情が...